

自動化機器 海外生産

NKE 中国・タイ 需要増対応

【京都】NKE(京都府長岡京市、中村道一社長、075・955・0071)は、自動化機器の海外生産に乗り出す。11月に中国でコンベヤー生産を開始、続いて2016年2月からタイでも始める。現地生産で需要増に迅速対応、既存顧客との取引拡大や新規顧客開拓につなげる。中国の拠点は12年に開設した広州中村機器

自動化(広州市)。現地企業の協力を受け、標準的なコンベヤー35・0071)は、自機種のノックダウン(KD)生産を始めた。月産数十台規模でスタート、今後はモーターやベルトなど部材の現地調達も進める。タイは同社駐在員事務所を置く日新電機タイ(パトゥムタニ県)で2月からコンベヤーの委託生産を始める。アジア地域には自動車関連など多くの取引先が進出、中国・タイに営業拠点を設けて、コンベヤーなど自動化機器は日本から輸出していた。需要量が一定し、現地仕様の機器需要なども見込めることから一部製品の現地生産に乗り出す。